

地域の人に知ってもらうことが、はじまり

南河原商工会に飾ってある歴代の南河原スリッパを目にした人々から「すごい」と言われることが多く、今まであまり気にしていなかった南河原スリッパの魅力に「気付いた」ことがプロジェクト発足のきっかけでした。南河原の高い製造技術が知られていない、なくなってしまうのはもったいないと思い動き出しました。

目指しているのは「復活」ではなく、こんな良いものを作っていると「知ってもらうこと」。南河原スリッパには職人の技術が詰まっています。耐久性に優れており、本来の機能がここにあります。実は、今のスリッパの主流は細身のもので、しかし、南河原スリッパは長年作ってきたスリッパの形を守っています。無理に形を変えることなく、職人の長年の技術を生かし、新しいスタイルを模索し



ながら高度な技術を後世へ残していきたい。そして、スリッパを軸として産業全体を盛り上げていきたいと考えています。



南河原商工会 佐野和美さん

「MINAMIKAWARA SLIPPER」プロジェクトの中心メンバーとして発足当初から積極的に関わる。デザイン企画や、謎解きとコラボした広報などを幅広く手掛ける。

謎解きに挑戦

オンライン謎解きゲームをしながら、南河原スリッパについて楽しく学ぶことができます。



南河原では、時代のニーズに合わせたデザインのスリッパが製造されてきました。その中には、現代でも十分に通用するデザインがたくさんあります。展示会などで昭和30年代から現在に至るまでさまざまなスリッパを公開して



過去のデザインが復活

使用されています。そこには、スリッパのかつての一大産地としての記憶と、その高い技術力を持つ南河原の地場産業を引き継いでいくという思いが込められています。



南河原村章に込められた思い

南河原スリッパのマークとしてスリッパに縫い付けられたタグには、旧南河原村の「ミナミ」を図案化した村章が使用されています。そこには、スリッパのかつての一大産地としての記憶と、その高い技術力を持つ南河原の地場産業を引き継いでいくという思いが込められています。

地場産業とのコラボ

後継者問題に頭を抱える日本の伝統産業。携わる多くの産業が後継者不足に悩んでいます。南河原スリッパも例外ではありません。現在、安易に生産性や効率化を追求するのではなく、「伝統技術を承継していくこと」を使命として、抗菌・防臭効果に優れた羽生市の藍染めの技術と南河原の丈夫なスリッパ技術を結集し、風合いの変わる藍を長く楽しめる商品づくりが行われています。



また、環境・社会・経済の調和をテーマに草加市の皮革を使用したバブーシュー（外履き可能なスリッパ）の製作が進められています。害獣駆除された鹿の革を使用し、小さなパーツを縫い合わせたデザインにすることで生地をロスを極力減らしています。

南河原スリッパのラッピングバスが走行中!



2月4日から来年2月3日までの1年間、地場産業のPRやバスの利用者増加のため、南河原スリッパをラッピングした国際十王交通のバスが南河原地区をはじめ、熊谷市や東松山市、小川町を中心に走っています。



みんなの南河原愛が結集

「MINAMIKAWARA SLIPPER」

南河原の高い技術力を後世に残す

平成30年（2018）、輸入スリッパの増加や職人の高齢化の中で、今ある南河原の技術を次世代につないでいくこと、スリッパの認知度向上を目的に、製作者と南河原商工会が中心となり「MINAMIKAWARA SLIPPER」プロジェクトが始動しました。

業種も年代も異なるメンバーが集結

プロジェクトチームにはスリッパ製造業者だけでなく、建築業、理髪業、不動産業など多様な業種の方が関わっています。さまざまなノウハウを持つ人たちが集まることで、斬新なアイデアや広報、販売経路などにつながりました。もともと村の約9割の世帯がスリッパ産業に携わっていた南河原の地だからこそできる強みといえます。職人の技術力と新しいデザインを融合し、地場産業の発展を目指しています。



世界に一つの組み合わせ

群馬県高崎市にある古着販売店のビンテージの生地を使ってスリッパを試作したところ、好評だったことがカラフルなスリッパのデザインの原点となりました。西アフリカ地域の生地などを使用した目に鮮やかな南河原スリッパは左右セットではなく一つ一つ売り場に並びます。それは、好きな組み合わせを選んでもらうことを目的にしているからです。

南河原スリッパの魅力のひみつ

その1 一目でときめく

南河原スリッパの特徴は、目を引くデザインです。普段使いしやすいシンプルなものから、藍染めや世界各国の伝統柄を取り入れたものまでバリエーション豊か。例えば、西アフリカ地域やブラジルの鮮やかな生地を使用したスリッパは、さまざまな布を縫い合わせていることから同じ柄のものはありません。こだわりのある南河原スリッパは自分用にも贈り物にもうれしいデザインです。

その2 履いて虜になる

履き心地の良さにも技術力が光ります。つま先から足の甲までしっかり覆われており、長時間履いても疲れにくい厚みと安定感のあるクッションが特長です。さらに、製品によっては水洗いもできる丈夫さがあり、コロナ禍でも衛生的に履き続けることができます。



自分だけのお気に入りの見つけられることも南河原スリッパの魅力です。市内では南河原商工会の他、観光産物館「ぶらっとろぎょうだ」や「行田市バスターミナル観光案内所」でも実物が展示・販売され、実際に手に取って見るることができます。

これらのように、南河原スリッパの良さを生かしながら、優れた伝統技術を承継していくという同じ志を持つ地場産業とのコラボレーション企画も積極的に進めています。これからも長年培われた伝統技術を引き継ぎ、面白いく、見たことのないものを取り入れながら、「MINAMIKAWARA SLIPPER」プロジェクトの挑戦は続きます。